

高校生世代を対象とした通学手段に関するアンケート調査結果について

(裾野市地域公共交通活性化協議会)

1. 概要

今年度実証運行を予定している須山地区を起点とした公共ライドシェアの運行ルート及びダイヤを検討するため、須山、下和田、呼子地区の高校生世代に対し通学手段に関するアンケート調査をロゴフォーム(オンライン)にて実施した。

2. 調査期間

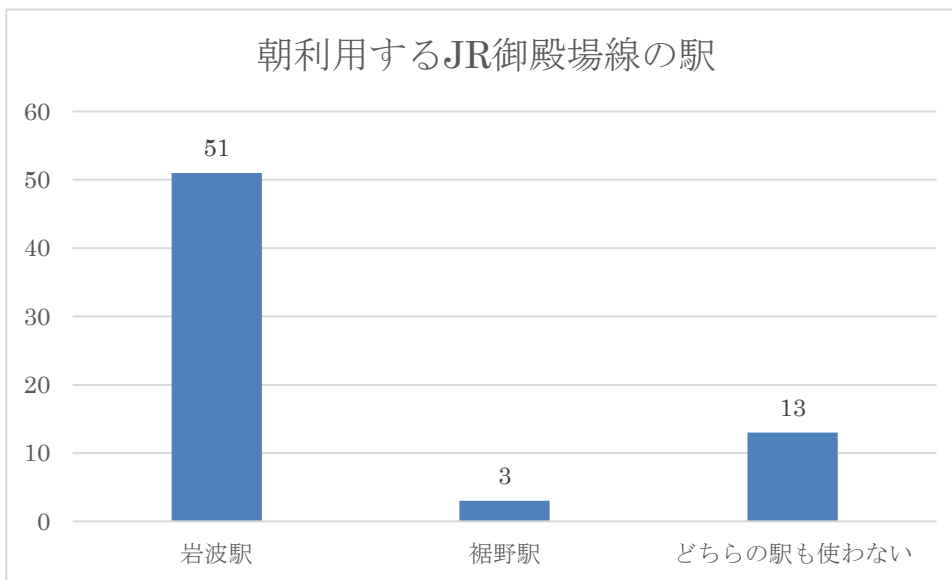
令和8年7月7日(火)～令和8年7月24日(金)

3. 対象者数及び回答者数

対象者:106名 回答者:67名(回答率:63%)
(須山地区29名、下和田区9名、呼子区29名)

4. 結果概要

(1)朝に利用する駅は、岩波駅が76%、裾野駅が4%、「どちらの駅もつかわない」が19%であった。また、帰宅時に電車を降りる駅についても、朝の利用駅と同様の傾向であった。



(2)朝に利用する電車

利用する電車は、7時19分発(沼津方面・御殿場方面)が15人と最も多く、次いで7時3分発(沼津方面)が14人であった。

時刻	回答者数	小計
御殿場方面 6時19分発	3	9
沼津方面 6時19分発	6	
沼津方面 6時46分発	3	4
御殿場方面 6時47分発	1	
沼津方面 7時3分発	14	14
御殿場方面 7時19分発	3	15
沼津方面 7時19分発	12	
沼津方面 7時39分発	5	7
御殿場方面 7時40分発	2	
その他	5	5

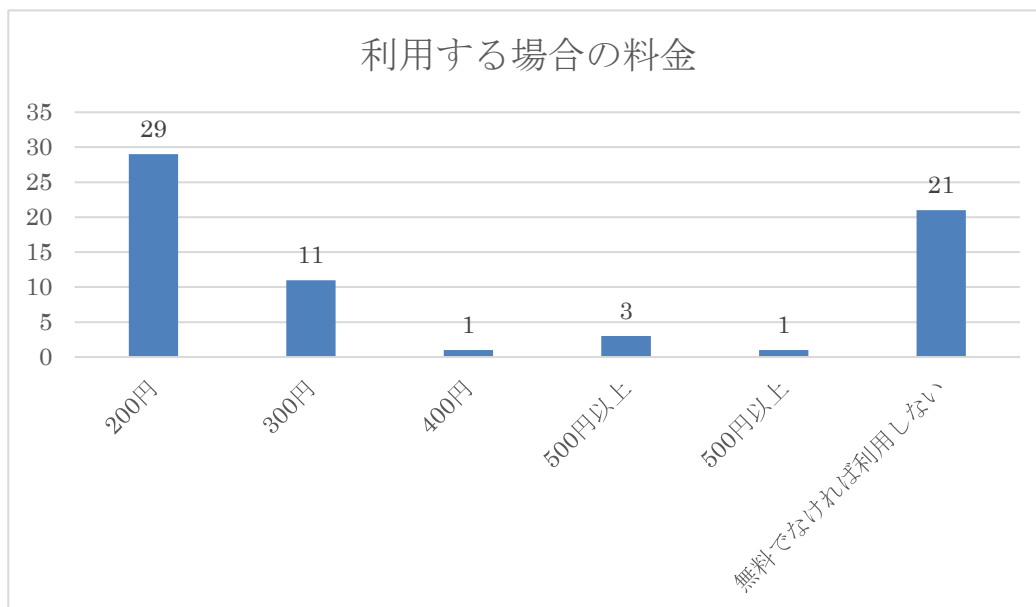
(3)帰宅時に電車を降りる時間(上位10件)

帰宅時間は、15時台から20時台と幅広く分散していた。

到着時間	件数	駅名
19:42	5	岩波駅
16:20	4	岩波駅
17:22	3	岩波駅
18:42	3	岩波駅
19:43	3	岩波駅
20:40	3	岩波駅
15:25	2	岩波駅
19:13	2	岩波駅
20:10	2	岩波駅
20:11	2	岩波駅

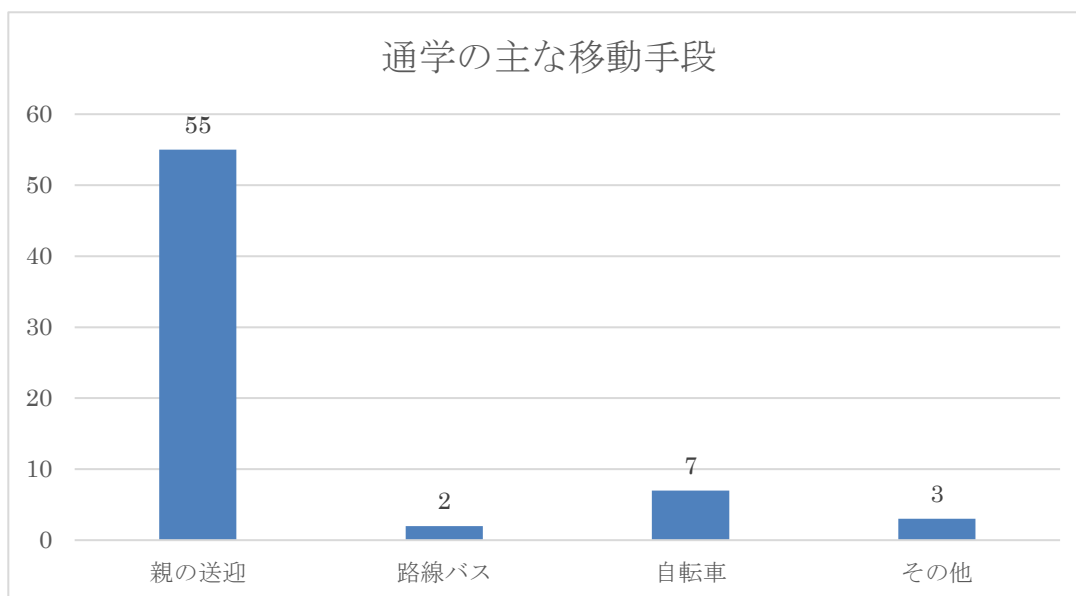
(4)利用料金

自宅付近(区の集会所等)から岩波駅まで利用する場合の希望料金については、「200円」が29件で最も多く、次いで「無料でなければ利用しない」が21件であった。



(5)通学の主な移動手段

通学の主な移動手段は「親の送迎」が55件(82%)であり、全体の大半を占めていた。



(6)自由意見(主な意見の分類)

①公共交通の不足・利便性

- 岩波駅へ直接行く公共交通がなく不便
- 呼子～岩波駅間の移動手段がほしい
- テスト期間や短縮授業時に帰宅手段がない
- 裾野駅で1時間以上バスを待つことがある
- 部活動後に利用できる夕方・夜間便が必要

- ・ 土日・長期休暇中も利用したい
- ・ 御殿場方面への運行も希望
- ・ 裾野駅までアクセスできるルートが望ましい

②保護者の送迎負担軽減

- ・ 毎日の駅送迎が保護者の負担になっている
- ・ 父母が仕事を中断して迎えに行く状況がある
- ・ 部活動や学校行事に対応できない
- ・ 兄弟の送迎との調整が難しい
- ・ 子どもの帰宅時間に合わせるため家庭生活に影響が出る

③高校生の活動機会への影響

- ・ 部活動を諦めざるを得なかった
- ・ 友人との交流機会が制限される
- ・ 通学可能な高校の選択肢が狭まる
- ・ 午前授業の日に帰宅できない
- ・ 学校選択や進路選択へ影響している

④料金に関する意見

- ・ できれば無料にしてほしい
- ・ 有料でも安価な設定を希望
- ・ 利用頻度が高いため定期券制度がほしい
- ・ 現在のバス代・定期代が大きな負担になっている

⑤安全性への不安

- ・ 事故時の補償内容を明確にしてほしい
- ・ 一般市民ドライバーの運転に不安がある
- ・ 運転手の講習・適性確認が必要
- ・ アルコールチェックを徹底してほしい
- ・ 運転歴や顔写真などを確認できる仕組みが欲しい
- ・ 高齢ドライバーへの懸念

⑥利用方法への要望

- ・ 当日予約を可能にしてほしい
- ・ 定時運行方式の方が利用しやすい
- ・ 乗降場所を増やしてほしい
- ・ 自宅近くまで来てほしい
- ・ 今里地区も対象に含めてほしい

⑦地域の将来に関する意見

- ・ 若い世代が地域に住み続けられる環境整備が必要
- ・ 子育て支援は高校生世代まで含めるべき
- ・ 北部地域への行政サービスが不足している
- ・ 交通環境改善は定住促進につながる